

タピネット

札幌市自立支援協議会

東区地域部会

第36号 令和6年11月発行



東区地域部会は、強度行動障がい支援に携わる支援者の育成を目的として、「強度行動障がい支援者育成モデル研修」を実施しています。第7回の報告になります。

冰山モデルで 支援を考える

演習では、架空事例を通して、チームで課題となる行動を決め、チームで冰山モデルを使って、支援を考えていただきました。色々な視点からアイデアが出ており、非常に勉強になりました。最後に、「短時間事例検討会」です。短時間で情報を収集し、支援アイデアをたくさん出すという演習です。事例に対して質問がたくさん出ていました。みなさん積極的にコミュニケーションを取られていました！

今回は「冰山モデル」がテーマでした。今回も3つのプログラムに分けて実施をしました。基礎講義では行動をチームで整理する大切さや整理した行動をどのようにチームとして支援に繋げていくかお話をさせていただきます。



本研修を通じて顔なじみの関係性ができ、新たな繋がりの中としての効果があったと感じております。継続的かつ実践的な学びの場に参加し、支援力の向上と支援者同士のつながりを強めていきましょう。

《次回のお知らせ》

令和6年度 第8回

東区地域部会強度行動障がい支援者育成モデル研修

テーマ：コミュニケーション支援の方法を考える

とき 令和6年12月13日（金）18:00～20:00

ところ 東区役所3階 第2会議室（東区北11東7）
※参集のみ。オンライン対応はしていません。

さんか 下記リンクまたは右のQRから、お申し込みください

もうしこみさき
☛ [申込先はこちら \(Google forms\)](#)

※ご参加には申込が必要です。

主催 札幌市自立支援協議会東区地域部会

申込先→

